



豊かな感性をもち、心身ともに健やかな生徒

自分で考え、判断し、生活することを楽しむ生徒

お互いの良さを認め合い、ともに活動する生徒

働くことを喜び、自ら社会に参加する生徒

宮城教育大学附属特別支援学校

令和4年2月4日(金) No.25

防災学習 ～非常食を作って食べよう～

災害発生時には、ガスや電気が止まり、ふだんの食事ができなくなることが予測されます。このような非常時に、自分の命を守ることをねらいとして、非常食を作って食べる学習を行いました。学校には、備蓄品として様々な食品をローリングストックしています。その中から、今年度はアルファ米(五目御飯)を実際に行って食べてみました。アルファ米の封を開けると乾燥材とスプーンが入っていますが、それを取り除いてお湯を注ぎ、15分間待つと食べごろになり、おいしくいただきました。このことは、ごく普通のことですが、平時に取り組んでおくことで、非常時にも安心して取り組めるものと考えます。また、缶入りパンも、缶を開けるところから行いましたが、プルタブを指で引っ張りながら開けることに苦戦している生徒もいました。ご家庭でも、ふだんの生活から非常時につながる支援を、よろしく願いいたします。



非常食の条件
「簡単・長持ち・栄養」



順番を守って、食べ物
を受け取りました。



熱湯注意!



自分で
缶を開けられた!

体育～青葉山歩行～

雪が残る青葉山の散策路を、体力づくりをねらいとして歩行活動を行ってきました。1月の青葉山は、凍えるような寒さですが、雪が積もった木々の美しさを眺めながら歩みを進めるうちに、上着がいらなくなるほど体が温まってきました。新緑が美しい青葉山もよいものですが、冬の凩と澄んだ空気の中を歩くことも、清々しくよいものでした。



5月
新緑の青葉山



1月
雪景色の青葉山



雪の坂道 ゆっくり
慎重に歩きます。

